

防災・減災アンケート調査の集計結果について

H25.7.20（土）に開催された『2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ ～7月25日を忘れない～』で実施した防災・減災アンケートの集計結果を掲載します。

なお、アンケートの回答総数は58でした。

各設問で表示した数値は、アンケート回答総数の58に対する各設問の回答数の割合を%表示しています（合計が100%とならない設問は複数回答があるものです）。

アンケート調査結果に関する問い合わせ先

本明川を語る会

代表 中野 勝利

国土交通省長崎河川国道事務所

調査第一課 田中（内線401）

防災・減災アンケート調査集計結果

(H25.7.20開催の『2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ ～7月25日を忘れない～』で実施、回答総数58)

Q1 ①お住まい ②性別 ③年齢 ④参加状況	あなたのお住まい、性別、年齢などをおたずねします。	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>■ 諫早市</td><td>94.8%</td></tr> <tr><td>■ 諫早市以外</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>■ 未記入</td><td>1.7%</td></tr> </table>	■ 諫早市	94.8%	■ 諫早市以外	3.4%	■ 未記入	1.7%						
	■ 諫早市	94.8%												
	■ 諫早市以外	3.4%												
	■ 未記入	1.7%												
<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>■ 男性</td><td>29.3%</td></tr> <tr><td>■ 女性</td><td>69.0%</td></tr> <tr><td>■ 未記入</td><td>1.7%</td></tr> </table>	■ 男性	29.3%	■ 女性	69.0%	■ 未記入	1.7%								
■ 男性	29.3%													
■ 女性	69.0%													
■ 未記入	1.7%													
<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>■ 20才未満</td><td>1.7%</td></tr> <tr><td>■ 20才代</td><td>10.3%</td></tr> <tr><td>■ 30才代</td><td>1.7%</td></tr> <tr><td>■ 40才代</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>■ 50才代</td><td>1.7%</td></tr> <tr><td>■ 60才以上</td><td>82.8%</td></tr> <tr><td>■ 未記入</td><td>1.7%</td></tr> </table>	■ 20才未満	1.7%	■ 20才代	10.3%	■ 30才代	1.7%	■ 40才代	3.4%	■ 50才代	1.7%	■ 60才以上	82.8%	■ 未記入	1.7%
■ 20才未満	1.7%													
■ 20才代	10.3%													
■ 30才代	1.7%													
■ 40才代	3.4%													
■ 50才代	1.7%													
■ 60才以上	82.8%													
■ 未記入	1.7%													
<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>■ 今回はじめて</td><td>43.1%</td></tr> <tr><td>■ 全て参加</td><td>10.3%</td></tr> <tr><td>■ 以前も参加した</td><td>43.1%</td></tr> <tr><td>■ 未記入</td><td>3.4%</td></tr> </table>	■ 今回はじめて	43.1%	■ 全て参加	10.3%	■ 以前も参加した	43.1%	■ 未記入	3.4%						
■ 今回はじめて	43.1%													
■ 全て参加	10.3%													
■ 以前も参加した	43.1%													
■ 未記入	3.4%													
Q2	今後「諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～」でとりあげて欲しい企画(内容)があればご記入下さい。	若い世代が参加したくなるような企画 体験談を小・中・高校生に聞かせられるような企画 市内の学校で行われている本明川での学習を学校の外で発表できる「ミニ壁新聞コンクール」や「本明川の遊び今昔対決」などの企画 市全体の危険区域のマップ(防災マップ)の紹介 若い世代にも伝えやすいようにアニメなどを作る 体験者の話は重要 防災の取組実態 消防、防災リーダー等の訓練や活動の現状 各自治会の防災の取組を引き続きお願いしたい 自治会の取組が各地域にあった取組になるような研修 災害当時の写真を集め、当時の地図の上に掲載して展示して欲しい 被災後の対策や実際の救援活動について今後も聞きたい 歌い続けていきたい 大雨が降った際のエリア別の危険度及び起こり得る状況の認知度アップ講座 本明川ばかりではなく郡部のことも話して欲しい 過去の諫早大水害を語り継ぐでのプログラム概要について参考資料としてまとめて展示してはどうか 救出された人の中で、ただひとり生き残った人のニュースがあったと思うが、その後の人生をどう生きたのか												

防災・減災アンケート調査集計結果

(H25.7.20開催の『2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ ～7月25日を忘れない～』で実施、回答総数58)

Q3	<p>「2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～」の感想をご記入下さい。</p>	別掲																		
Q4	<p>雨がひどくなってきたとき、どのような情報を提供して欲しいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ①警報や注意報などの気象情報 ②今後の気象変化の予想 ③雨量や水位などの河川情報 ④今後の川の増水や減水などの予想 ⑤現在の川の水位危険度情報 ⑥諫早市からの避難判断情報 ⑦川やまちの様子がわかる写真や映像 ⑧その他 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>46.6%</td></tr> <tr><td>②</td><td>32.8%</td></tr> <tr><td>③</td><td>20.7%</td></tr> <tr><td>④</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>32.8%</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>3.4%</td></tr> </tbody> </table>	項目	割合	①	46.6%	②	32.8%	③	20.7%	④	15.5%	⑤	22.4%	⑥	32.8%	⑦	13.8%	⑧	3.4%
項目	割合																			
①	46.6%																			
②	32.8%																			
③	20.7%																			
④	15.5%																			
⑤	22.4%																			
⑥	32.8%																			
⑦	13.8%																			
⑧	3.4%																			
Q5	<p>雨量、川の水位、被害状況などをどのような方法で入手しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インターネット ②携帯電話（iモードなど） ③長崎河川国道事務所のホームページ ④NHKや民放テレビのニュース ⑤地デジのデータ放送 ⑥諫早ケーブルテレビ ⑦ラジオ ⑧その他 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>13.8%</td></tr> <tr><td>②</td><td>6.9%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5.2%</td></tr> <tr><td>④</td><td>70.7%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>10.3%</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>29.3%</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>24.1%</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>3.4%</td></tr> </tbody> </table>	項目	割合	①	13.8%	②	6.9%	③	5.2%	④	70.7%	⑤	10.3%	⑥	29.3%	⑦	24.1%	⑧	3.4%
項目	割合																			
①	13.8%																			
②	6.9%																			
③	5.2%																			
④	70.7%																			
⑤	10.3%																			
⑥	29.3%																			
⑦	24.1%																			
⑧	3.4%																			
Q6	<p>大雨で避難する必要があるとき、よくわからないこと・心配なことは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ①どこに避難して良いか知らない ②どこを通過して避難したら良いか分からない ③避難が必要なタイミング（どの時点で避難を判断したらいいか）が分からない ④体の不自由な家族がいて心配 ⑤外に出たら危険なので家でじっとしていた方が良い ⑥その他 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>17.2%</td></tr> <tr><td>②</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>③</td><td>48.3%</td></tr> <tr><td>④</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>3.4%</td></tr> </tbody> </table>	項目	割合	①	17.2%	②	22.4%	③	48.3%	④	3.4%	⑤	15.5%	⑥	3.4%				
項目	割合																			
①	17.2%																			
②	22.4%																			
③	48.3%																			
④	3.4%																			
⑤	15.5%																			
⑥	3.4%																			
Q7	<p>国土交通省 長崎河川国道事務所が行っている情報提供の取組をご存じですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ①河川（裏山橋付近など）の映像や水位情報等を長崎河川国道事務所のホームページに公開していること ②裏山橋、諫早橋等の橋脚に赤や黄色の水位の危険度レベルを表示していること ③音と光で川の危険度を知らせる「川の警告灯」を本明川に設置していること ④諫早駅前に設置している情報掲示板に雨量等の情報を表示していること ⑤小中学校を対象とした防災教育支援や防災マップづくり ⑥防災マップづくりの手引きを長崎河川国道事務所のホームページに公開していること 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>17.2%</td></tr> <tr><td>②</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>20.7%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>10.3%</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>6.9%</td></tr> </tbody> </table>	項目	割合	①	17.2%	②	50.0%	③	15.5%	④	20.7%	⑤	10.3%	⑥	6.9%				
項目	割合																			
①	17.2%																			
②	50.0%																			
③	15.5%																			
④	20.7%																			
⑤	10.3%																			
⑥	6.9%																			

防災・減災アンケート調査集計結果

(H25.7.20開催の『2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ ～7月25日を忘れない～』で実施、回答総数58)

Q7の取組に対してのご意見やご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の記入欄にご記入ください。

貝津町に住んでいるので取組についてよく知らない。

知っている取組が少なかったので、もっと住民に知らせてほしい。
知らない人の方が多いのでは？

「川を守る」ということがいかに大切なことかをもう少し知らしめてほしい。
その方法の一つとして「川」の作文・公開などがあってもいいのでは？

Q7の地区ではないのであまり参考にならないと思う。
終わりの時間をオーバーしないようにしてほしい。

Q8 時間が延びないようにしてほしい。

施設内での防災体験が出来る施設を県央に作ってもらいたい。東北地震や他の地区の被災地への援助の取組活動の状況を聞きたい。

合併して諫早市も広範囲になったので、自治会での取組が大事だと思う。
防災マップの手引きも各地域にあったものが必要になると思う。

本当の大水害は昭和32年7月24日です。
私の生まれた日です。

福田川にはどこにあるのか？
川が曲がって流れている箇所にも表示して欲しい。

こういった取組を行っていることを雨が深い時期にテレビで告知した方がいいと思う。

防災・減災アンケート調査集計結果

(H25.7.20開催の『2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ ～7月25日を忘れない～』で実施、回答総数58)

Q3：参加しての感想

1	市長の災害対策についての話は心強く、体験談の中で自衛隊が苗を運んだり復旧に尽力したことを初めて知った。これからも是非この会を続けて欲しいと思うと共に、もっとたくさんの人に来て貰うように努力してほしい。 自治会の取り組みはあまりにも狭い範囲（違う地区）だったので、あまり参考にならなかった。
2	体験談を聞き、やはり防災の強化が必要だと感じた。 皆大きな災害を忘れてる様に思う。 市民一人一人が家族で話し合う機会を作れたらと思う。
3	当時は子供だったのであまりわからなかったが、体験談を聞いて苦労がよくわかった。
4	当時は高校生で佐世保に在住。家の下を通っている鉄道の石が流されていた時の大雨が諫早大水害だったのかと思う。 今まで高台ばかりに住み、水害の恐ろしさを経験したことがない。 テレビで報道される水の恐ろしさは年齢を重ねることに心配になる。
5	諫早の歴史の中の大きな出来事で、地元の人は伝えていくことが肝要であると思う。 郷土のことなので、もっと若い世代に知らしめてほしい。小・中学生への出前講座もいいのでは？ 朗読はとてもよかった。これを若い世代に聞かせてほしい。 万歩さんの川の遊びも面白くこれも伝えてほしいと思う。
6	DVDがよかった。また見ようと思えば図書館にあるというのがよい。 知らなかった話もあり、諫早の小・中学校でも大水害の話や上映をするとういのはと思う。 川祭りとは違ったイベントとして、これからも続けていくべき大切な取組だと思う。
7	時間をもう少し短くしてほしい。
8	当時の災害状況がよくわかった。
9	昨年の田川さんの体験談は素晴らしかったし、感動した。 今年の体験談は大事なこともかもしれないが専門的過ぎてちょっと退屈した。
10	今まで5回もこの会が開かれていたことを知らなかった。広報活動をもっとたくさんして、参加者が増えるといいと思う。子供達の合唱団に参加してもらえば、保護者が加わるのではないかな。
11	この会があることを知らない人が多いので、もっと宣伝が必要だと思う。
12	体験手記、体験者談を色々な人から聞く毎に当時の凄まじさを感じ取ることが出来た。 生の声を聞くという事はリアルに悲惨さを感じて言葉になりません。
13	次世代に継ぐべき貴重な体験を風化させてはならないという認識をあらたにした。
14	いつも感激を新たにして見学しています。 もう少し広くPRして学校等を訪問して若い人にも語り継いでいってほしいと思う。
15	池田さんの体験手記には感動した。 大雨や地震等の災害の時は早く避難する事がまず大事。 災害の時はどうするか事前に準備しておくことが大事であると感じます。
16	5回続けられてよかった。 自衛隊の活躍が諫早から始まっていることに感激した。 当時の市民の気持ちが映像に残っていると思った。
17	体験者談、取組発表はよかった。 小・中学生の意見を聞いてみたい。
18	講演者・発表者の内容について事前にアドバイスしたらどうか。 参加者の関心のない発表が長く続くと雑談が増えて聞きづらい。
19	話が長すぎる。 時間を守って5分前には知らせのベルを鳴らす等してほしい。
20	話もよかったが、コーラスも気分転換になってよかった。

防災・減災アンケート調査集計結果

(H25.7.20開催の『2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ ～7月25日を忘れない～』で実施、回答総数58)

21	長崎県の水害が多いことに驚いた。
22	諫早大水害を経験している祖父母は慶巖寺付近に住んでいて、少しでも雨がひどいといつも本明川の様子を心配していた。話や写真で見たことはあったが、今回記録映像を見て当時の様子や復興への歩みをより知ることができた。二度と起こってほしくはないが、いつ起きるかわからないのが災害なのでどんな備えが必要か、考えるきっかけとしてこの取組は大変意義深いものだと思う。
23	とても貴重な話を聞くことができありがとうございました。 長崎大水害の時に飯盛でも大きな被害が出た事は初めて聞いたので驚いた。 かわいそうな話だけでなく、復興の話が重要だと思う。
24	忘れられない7/25。 ずっと語り継いでほしい。懐かしい写真を見せてもらいました。
25	現在はあちこちで人災、天災が起こって歴史は繰り返されるものだなとつくづく思った。 小学5年生だった私の記憶の中にも、当時二階に避難していて雷の光で見た外の景色が一面の泥海だったことや、父が一生懸命私や近所のことなど走り回って頑張っている姿を思い出した。 自衛隊の人々の働きぶりには頭が下がる思いがした。
26	大水害を風化させず、これから先もずっと続けてほしいと思った。
27	水害から56年も経っているので、映像による当時の状況は非常に鮮明で非常によかった。 川柳の一句や朗読等も深く感銘するところがあった。 今後、次世代に継げていくには現在の状況と当時をつなぎ比較公証などを映像でチャレンジしてみては？
28	体験者の話が長すぎたと思う。
29	諫早大水害を語り継ぐ会なのに、長崎水害の話がされた。 自治会説明でなくもっと現実的な話を聞きたい。
30	初めて参加したが、当時のことが思い出されて日常の気付けが必要かと思った。 大水害を語り継ぐ会だったが他の話が長かった。
31	当時の貴重な写真に声を上げている人もいた。 朗読が大変よかった。
32	自衛隊の人の復旧活動や大水害の被害の大きさ等、その時は近くで見ることが出来なかったのでどんな状況か知りたくて参加した。 当時小野町に住んでいたため、自宅の片付け等に追われて必死だった。 よくここまで綺麗になったなど、その時その時で頑張れるものだなと思った。この映像を見せていただいております。 ありがとうございます。
33	貴重な資料映像と体験発表により、防災を考える良い機会となりました。 関係皆様の取組みに感謝申し上げます。
34	本明川の歌を全部歌ってほしかった。 水害記録映像の上映・体験手記朗読はよかった。 自治会防災の取組みの発表は参考になった。 諫早をテーマにして作られた「せせらぎの詩」「とって大切なもの」を入れてあってよかった。
35	貴重な記録映像、手記を見たり聞けたりしてよかった。 小中学校などでは郷土歴史の中で使うなどの機会があるかもしれないが、大人になるとなかなか見る機会がないので是非ともこれからも続けていってほしい。 各内容の時間を設定して開催した方がいいと思う。
36	貴重なフィルムを見せてもらい、当時自衛隊の行動力がいかに役に立ち、人々の感謝の気持ちを今更ながらに感じる事が出来た。
37	学校を訪問してほしい。
38	いい話ではあったが、時間がかかりすぎたのではないかと。 体験談も一人だけでよかったのではないかと。
39	救援苗の朗読を聞いて、当時12歳で農家の子供だったので「親は全ての田んぼを流失した状況をどのようにしよう、家族の食糧をどうすればいいかなどとても苦労したんだな」と今更ながら親や他の大人たちは苦労したんだなと尊敬と感謝を伝えたいと思った。 今は亡き両親にありがとう。

防災・減災アンケート調査

今後の本明川の防災・減災に向けた取り組みの参考としたいため、ご来場の皆様のご意見をお聞かせ下さい。(本明川を語る会)

Q1 あなたのお住まい、性別、年齢などをおたずねします。(あてはまるものに○をつけてください。なお、諫早市の場合は町名をご記入ください。)

- お 住 まい 1. 諫早市 _____ 町 2. 諫早市以外
● 性 別 1. 男性 2. 女性
● 年 齢 1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代
4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代以上
● 参 加 状 況 1. 今回はじめて参加 2. 5回すべて参加 3. 以前も参加した

Q2 今後「諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～」でとりあげて欲しい企画(内容)がありましたらご記入ください。

Three horizontal dashed lines for handwritten input.

Q3 「2013 第5回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～」の感想をご記入ください。

Eight horizontal dashed lines for handwritten input.

Q4 雨がひどくなってきたとき、どのような情報を提供して欲しいですか？
(提供して欲しい情報の番号に○をつけてください。)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 警報や注意報などの気象情報 | 5. 現在の川の水位危険度情報 |
| 2. 今後の気象変化の予想 | 6. 諫早市からの避難判断情報 |
| 3. 雨量や水位などの河川情報 | 7. 川やまちの様子がわかる写真や映像 |
| 4. 今後の川の増水や減水などの予想 | 8. その他 () |

Q5 雨量、川の水位、被害状況などをどのような方法で入手していますか？
(入手方法の番号に○をつけてください。)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. インターネット | 6. 諫早ケーブルテレビ |
| 2. 携帯電話 (iモードなど) | 7. ラジオ |
| 3. 長崎河川国道事務所のホームページ | 8. その他 |
| 4. NHKや民放のテレビニュース | [] |
| 5. 地デジのデータ放送 | |

Q6 大雨で避難する必要があるとき、よくわからないこと・心配なことは何ですか？
(あてはまるものに○をつけてください。)

- どこに避難してよいか知らない
- どこを通過して避難したらよいか分からない
- 避難が必要なタイミング (どの時点で避難を判断したらよいか) が分からない
- 体の不自由な家族がいるので心配
- 外に出たら危険なので家でじっとしていたほうがよい
- その他 ()

Q7 国土交通省 長崎河川国道事務所が行っている情報提供の取組をご存じですか？
(知っている取組の番号に○をつけてください。)

- 河川(裏山橋付近など)の映像や水位情報等を長崎河川国道事務所のホームページで公開していること
- 裏山橋、諫早橋などの橋脚に赤や黄色の水位の危険度レベルを表示していること
- 音や光で川の危険度を知らせる「川の警告灯」を本明川に設置していること
- 諫早駅前に設置している情報掲示板に雨量等の情報を表示していること
- 小・中学校を対象とした防災教育支援や防災マップづくり
- 防災マップづくりの手引きを長崎河川国道事務所のホームページに公開していること

Q8 Q7の取組に対してのご意見やご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の記入欄にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
なお、アンケートの結果につきましては、国土交通省 長崎河川国道事務所ホームページでお知らせします。